

大阪大学図書館報

Volume 11 No. 5 Sept. 1969

館長就任にあたって

The true university is a collection of books.

関 集 三

前館長宮地教授の後をうけて、図らずも館長の後を引きうけることになりました。前館長はこの方面の権威者であり、阪大図書館の近代化は申すに及ばず我国の大学図書館行政にも大きな足跡をのこされたことは皆様ご承知の通りであります（前号館報）。私はその道の全くの素人であるだけに、その資格の欠如を一層痛感するわけですが、分館長、図書館委員の方々のご援助、有能な図書館職員の皆様のご協力によりまして微力ながらその責を果したいと念じております。

今から既に34年前、始めて私が阪大理学部図書館に足をふみ入れたときの感激は未だ忘れることができません。受付の背後に初代総長長岡先生（号楽水）の揮毫、「勿嘗糟粕」の額を眺めたからです。自分が研究生活に入るにつれ、この意味が一層深く味われるようになりました。読書のきびしい態度が若い私の心に深く刻みこまれました。この額はその後新しく表装され、現在の理学部図書室に掲げられております。もう一つ、私事で恐縮ですが、図書館について関心を新にした思い出を記させていただきます。

15年前、私が初めてアメリカのペンシルバニア州立大学に留学した時のことであります。東大に比較して丁度対照的に、正門を入った正面の安田講堂大学本部の位置に中央図書館が大学のシンボルとして位置し、逆に東大図書館と同じ右側の位置に大学本部や講堂が位置していました。その図書館入口右側に読書している哲人のレリーフがはめこまれており、そこに“The true university is a collection of books”の文字が刻んでありました。図書館人の自負と誇りを示すこの文字と共に、大学当局者が図書館を大学の正面に据えている建物配置に感銘を受けました。

さて、話を大阪大学にもどしますと本大学の図書館は旧七大学のそれらにくらべて、とくに組織・機構等の面においてもっとも立ち遅れているようであります。これらについては前号に前館長がくわしく述べておられるのでここではくわしくとりあげません。そこで指摘されている図書館長の専門職化、図書館予算の独立性等は我国大学図書館の在り方の諸外国に比べての後進性を示すもので、このことは大学における工作センター等にも通じることであり、全大学人の自覚と文部当局の協力によって初めて達成させるべきものと思われまゝ。

大阪大学図書館そのものの改善についても前館長からの確な方向づけをいただいております。阪大各地区の分館の研究図書館的機能を一層能率化さすべき設備の機械化や情報管理乃至処理的性格の強化が近い将来の問題であります。特に教育的図書館の性格のつよい豊中本館の書庫と図書館の拡張が緊急と考えられます。阪大紛争の現時点において、教養部における教育の改善は、全学をあげて取り組むべき問題と考えられますが、その際豊中本館の果たす役割には重要なものがあります。希望にもえて入学する新入生諸君が自主的勉学にはげむため、たとえば本館のレファレンス・ライブラリアンの充実は彼等に大きいはげみを与えるでしょう。さしあたりは教養部の諸先生は申すまでもなく、全学の教師が更に図書館との連絡を密にして教育改善のため図書館の利用に一層心がけていただくことを望みます。

本年度は吹田地区に新しい工学系図書分館が新設され、微研、産研、蛋白研の集合があり、また明年には図書館本館の増築が有力視されるようになりました。阪大の地区分散状態が本学図書館行政における集中化および分散化と複雑に絡んでおりますが、図書館の役割の長期的性格を考え、これをいかに体質改善すべきか、近い将来の大きい課題と申せましょう。全阪大人の積極的な提言とご支援をお願いいたします。

(附属図書館長)

さびしい本館閲覧室の雑誌

「少ない予算で充実した蔵書を」という一見矛盾した命題を実行するため、本館では、昨年来、教養図書選択方法の改善など(本報 Vol 2 No. 4, 6 Vol. 3 No. 3 参照)を実施してきたが、今般雑誌についても検討するための資料として、国立七大学中央館の閲覧用雑誌を調査した。

この調査結果をまつまでもなく、本館の一般雑誌の貧弱さは感じられるが、この調査によってデータの上でもはっきりしたといえよう。

現在七大学中央館で購入中の閲覧用雑誌種類数は、428種類(和259, 洋169)であるが、本館の購入種類数は77種類(和66, 洋11)であり、種類のカバー率は17.9%(和25.4%, 洋6.5%)となり、洋雑誌の少なさがめだつ。

とりわけ、他大学の過半数が購読中のもので本館にない雑誌が、43種類もある。その主なものを例示すると、

文芸、法学セミナー、自由、経済評論、思想、思想の科学、数学セミナー、旅、展望

このことは、本館のある豊中地区で、理科系学部を除いて、資料の集中化が行なわれないで、各学部資料室にめぼしいものが分散していることが大きな要因ではなからうか。

外国文献購入調査委員会 第1回 開催

—近畿地区国公立図書館協議会一分科会—

主査は本学図書館

大学図書館で受入している図書の半数以上がいわゆる洋書であるが、この洋書の購入ということは、出版社が日本の法規の通用しない外国であることなど特殊事情が多く、いろいろと問題点が多かった。近畿地区国公立大学図書館協議会では、その内部に専門委員会として、外国文献購入調査委員会を設けて、この問題を調査研究することになり、その第1回委員会が、7月21日(月) 10:00am.~5:00pm. まで中之島分館会議室で開かれた。

本学は主査館であり、閲覧課長、山口整理課長補佐(司会)、受入掛長、整理第2掛長、調査資料掛長が出席したほか、各大学事務長・係長クラス15名が出席し、次のような今後の運営方針を決定した。

(性格) 研究会、情報交換の場

(目的) ①外国雑誌の予約・支払方法・契約内容 ②外貨換算率・手数料 ③資料の直接購入
④資料の共同購入 ⑤購入事務合理化 などの調査研究

(次回予定) 9月下旬、京大で、上記①について各館の実情報告を行なう。

議事終了後、洋書輸入協会関西支部長丹羽正之氏による「洋書の輸入についての概況」と題する話を聞いた。

新聞分担保存 第3報

—近畿地区国公立図書館協議会一分科会—

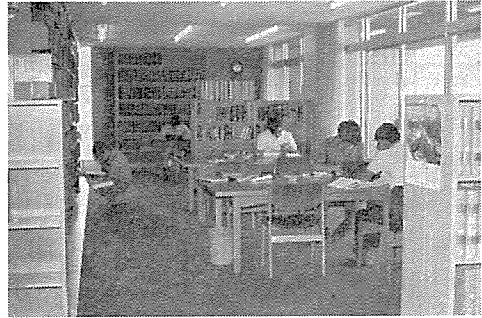
44.7.21(金) 2.00~5.30pm. 於 大阪経済大学
出席館・大阪府大、大阪市大、関西大、大阪外大、大阪経大、大阪大

- ① 新聞分担保存 本年1月1日号を保存始期として実施してきたが、これについて現在まではなんら支障はないとの意見であった。
- ② 新聞の廃棄処分 処分するまえに大阪市大へ連絡することとし、他の加盟館の必要の有無を調査の上、有効な利用法を考える。
- ③ 一般通俗雑誌(中央公論、世界、新潮、文芸春秋、科学朝日等)の分担保存 新聞と同様に分担保存の対象にするが、対象誌の選定は次回までに各委員館で検討する。
- ④ 資料の分担収集 各委員館で重要なものを分担収集して、これらのコンテンツ・サービスを行なってはどうかとの提案があり、各館の事情もあるので今後の研究課題とする。
- ⑤ 協定館間の相互利用閲覧券の発行 従来から相互利用については紹介状、身分証明書の提示、電話連絡等の方法で行なってきたが利用者の便宜をはかるため、各館の責任において閲覧券を発行してはどうかとの提案があり、今後検討することになった。

☆☆☆分館めぐり (6)☆☆☆

—産研分館—

当分館の属する産業科学研究所は、昭和14年大阪大学附置研究所として堺市に設立され、同26年枚方市の阪大音響科学研究所を統合し、以来30年ぶりに、昨年3月千里ニュータウンと万国博用地のすぐそば吹田市山田上の60,000㎡の敷地に、延16,000㎡の新館が完成し移転を完了したばかりである。現在、電子科学・金属無機材料・有機化学・放射線科学の4研究部、20研究室より成り、物理・化学関係の基礎理論とその応用を目的として研究活動を行っている。どちらかと言えば工学より理学系の研究が主である。



産研分館は形式上からは分館であるが実質的には研究所図書室であり、研究所の費用で運営されている。43年度の図書室経費は6,000千円、各研究室の資料費を加えれば11,000千円であった。資料の主題的傾向は上に述べた研究テーマに従って、電子・放射線・音響・有機化学・結晶・金属・材料科学関係と広い。主要雑誌はすべて図書室に置かれているが、資料の集中管理の立場から言えば、図書室と研究室の購入雑誌数の比は2:1であり、重複購入の雑誌も10数種に達して望ましくはない。しかしながら利用頻度・入手までの時間・価格などを考えれば、所内職員・学生の利用に関する限り、また組織内に文献センターの機能を持つ図書館がある限り、この方が効率的でないかとも思われる。後者の条件において理学部の蔵書に負うところが多く、理学部教官・図書室の方々には感謝の念にたえない。

産研図書の利用方法・統計などは下表の通りであるが、最近の目立つ傾向として、現在吹田キャンパスに移転してきている工学部からの利用が多くなり、閲覧者数・貸出冊数において所内の利用と拮抗している。所外の人の利用にはこの図書室の性格・設計からして不向きであるが、収蔵能力が飽和に達しつつある蔵書の大部を新しく吹田地区にできる工学部図書館に保存をお願いする話もあり、さらに機能的立場からも特に工学部との組織・相互利用上の関連が問題となっている。この点で産研分館が転機に立っていると言ってよい。新しい設備に比べて資料の整理や図書館活動ははかばかしくなく、種々の問題・仕事が山積みされているが、今後とも図書室職員が協力し分館長の指導のもとに一日も早く円滑な図書館活動ができるように努力していきたい。

昭44. 5. 1 現在

開館時間	利用の方法			複写	貸出方法	
9:00~ 17:00	①学内者：共通閲覧券・貸出券・身分証明書による ②学外者：原則として研究室主任の紹介が必要			校費のみ	吹田地区外の学内者：共通閲覧券 吹田地区内の学内者：図書貸出券	
蔵書冊数	製本雑誌種類数	43年度貸出冊数	43年度ゼロックス複写枚数	設	備	座席数
21,168	243	1,816	134,772	冷暖房, ゼロックス2台, トーションファック, スライド用タイプ, その他		24

文献所蔵その他問合せは、外線 06-878-5111 (産研)、内線 3420 カウンターまで。

教 官 寄 贈 図 書

本 館

- | | | | |
|----------------------|---------------------|-----------------|-----|
| 久保田 肇(教 助教授) | | | |
| ドイツ文章, 接合詞の研究 | 久保田 肇 著 | | 昭43 |
| 佐藤清郎(教 教授) | | | |
| 三人姉妹, 桜の園他(世界文学全集43) | チェーホフ 著
米川 正夫 他訳 | 集 英 社 | 昭44 |
| 山田祥一郎(教 教授) | | | |
| 樋田龍太郎: 思想と研究 3冊 | 山田 祥一郎 編 | 樋田博士追悼
記念事業会 | 昭39 |
| 樋田龍太郎博士の追憶 3冊 | ” | ” | 昭39 |

中之島分館

- | | | | |
|-----------------------------|--------------------|------------------|------|
| 河村洋二郎(歯 教授) | | | |
| Advances in Oral Physiology | 河村 洋二郎 編 | 阪大歯学部
口腔生理学教室 | 1968 |
| 松倉豊治(医 教授) | | | |
| 法医学講義 改正版 | 松倉 豊治 著 | | 昭43 |
| 難波 和(短大 教授) | | | |
| 循環器病の治療計画 | 難波 和 共著
野村 裕 共著 | 中 外 医 学 社 | 昭44 |
| 水 川 孝(医 教授) | | | |
| 角膜研究の進歩——水川孝教授開講10周年記念特集 | | 日本眼科紀要会 | 昭43 |
| | | 日本眼科紀要会編 | |
| 今泉礼治(医 前教授) | | | |
| カチュールアミン | 今泉 礼二 編著 | 医 学 書 院 | 昭43 |
| 宮地 徹(医 教授) | | | |
| 日本における胃癌研究のあゆみ | 大阪厚生年金編
病院 外科編 | 大阪厚生年金
病院 外科 | 昭42 |
| 臨床組織病理学 増補6版 | 宮地 徹 編 | 杏 林 書 院 | 昭42 |

工学部分館

- | | | | |
|-----------------|------------------------------------|---------|-----|
| 村田 暹(工 教授) | | | |
| 機械工学における空気力学実験法 | Повх, И.И 著
村田暹, 小川徹
三宅 裕 共訳 | 朝 倉 書 店 | 昭44 |

薬学部分館

- | | | | |
|-------------|-------------------------|---------|-----|
| 矢田 登(薬 講師) | | | |
| 新しい薬剤学 | 一番ヶ瀬尚
矢田 登 他共著 | 広 川 書 店 | 昭44 |
| 川崎近太郎(薬 教授) | | | |
| 改稿 食品衛生学 | 川崎近太郎
元山 正共著
近藤雅臣 | 第 一 出 版 | 昭44 |

